

大阪労働局発表
令和 5 年 12 月 4 日

【照会先】
大阪労働局 職業安定部 職業安定課
(代表電話) 06-4790-6300

ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組

<令和4年度ハローワーク総合評価の結果等の発表>

～ハローワークの“業務の見える化”で

サービス向上を目指します～

厚生労働省では、平成27年度から全国のハローワークをポイント化して比較する「ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組」を実施しているところです。

また、大阪労働局（局長：荒木 祥一）では、誰もが活躍できる良質な雇用機会を確保するため、この取組を通じ、ハローワークの“業務の見える化”を行い、サービスの向上を図っています。

今般、令和4年度の大阪府内のハローワークごとのマッチング機能に関する業務の成果、総合評価の結果、ハローワークが実施した各種の取組の結果及び業務改善の実施状況等を取りまとめましたので、別紙1及び別紙2のとおり発表いたします。

大阪労働局・ハローワークでは、引き続き、現下の情勢に対応した対策・取組を実施してまいります。

1 「ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組」概要

全国の11のグループにおいて、業務の目標に対する達成状況等によりポイント化を行い、グループ内での相対評価を実施し、その評価結果等を踏まえて、継続的な業務改善を行う取組です。

これは、ハローワークが、マッチング業務の成果や評価結果、業務改善の状況等を利用者に分かりやすく公表することにより、透明性を高め、ハローワークに対する信頼性の向上を図ることを目的とするものです。

詳細は、別添をご覧ください。

2 大阪府内16のハローワークの総合評価の結果等

(1) 令和4年度における総合評価の結果

大阪府内のハローワークは、労働市場の状況等により全国で11に分けられたグループのうち、1～5のグループに属しています。令和4年度においては、総合評価（4段階）のうち、（類型1）非常に良好な成果（大阪府内の1のハローワーク）、（類型2）良好な成果（大阪府内の15のハローワーク）という総合評価結果となっております。詳細は、別紙1をご覧ください。

(2) 就職支援業務報告

令和4年度の大阪府内のハローワークの業務運営の総括について、各ハローワークの所長による分析を行っております。詳細は別紙2をご覧ください。

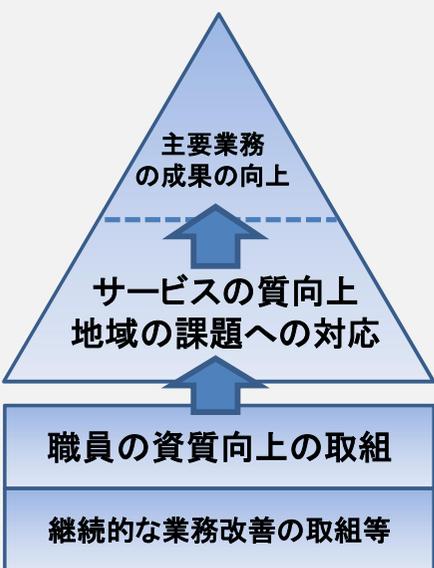
ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組 (ハローワーク総合評価)の概要

別添

ハローワークのマッチング機能の強化を図るため、従来の目標管理・業務改善の拡充、マッチング機能に関する業務の総合評価、評価結果等に基づく全国的な業務改善(ハローワーク総合評価)の取組を、平成27年度から実施。

PDCAサイクルによる 目標管理・業務改善の拡充

- 従来の取組(就職件数等の**主要指標**に基づくPDCAサイクルによる目標管理)を拡充し、
 - ①業務の質に関する**補助指標**
 - ②ハローワークごとに、地域の雇用の課題を踏まえ重点とする業務に関する**所重点指標**
 - ③ハローワークごとに、中長期的なマッチング機能強化のため、職員の資質向上や継続的な業務改善の取組を推進する評価項目である**所重点項目**を設定し、目標管理を実施。



短期的な成果の向上だけでなく
中長期的な成果の向上
マッチング機能を強化

ハローワークのマッチング機能の 総合評価・利用者への公表

- 業務の成果について毎月公表
→各労働局が所管ハローワークの主要指標の実績を毎月公表
- 年度終了後、業務の成果(主要指標・所重点指標)や質(補助指標)、職員の資質向上・業務改善の取組(所重点項目)の実施状況を踏まえ、ハローワークごとに総合評価を実施。
→労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークを11のグループに分け、同一グループ内で相対評価
- ハローワークごとに総合評価結果及び業務改善の取組等をまとめ、各労働局が公表。


重点的に取り組んだ事項、業務改善を図った事項、業務改善が必要な事項、総合評価、基本統計データ、指標ごとの実績及び目標達成状況などを公表
- 総合評価結果を、労働局は地方労働審議会、本省は労働政策審議会に報告。

評価結果に基づく 全国的な業務改善

- ハローワークのマッチング機能の強化を図るため、評価結果をもとに、本省・労働局による個別のハローワークへの重点指導や好事例の全国展開を実施
 - ①評価結果に基づき、本省から、労働局・ハローワークに対する問題状況の改善指導
 - ②一定の基準に該当するハローワークは改善計画を作成、本省・労働局が重点指導
 - ③好事例は全国展開
労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークによる交流会も開催

ハローワーク総合評価の評価指標の構成

1 全ハローワーク共通の評価指標(主要指標・補助指標)

(1)主要指標

ハローワークのマッチング機能に関する業務のうち、特に中核業務の成果を測定する評価指標

- 就職件数
- 充足数
- 雇用保険受給者の早期再就職件数

(2)補助指標

ハローワークのマッチング機能に関する業務の質を測定する評価指標

- 満足度(求人者)
- 満足度(求職者)

2 地域の雇用課題等に応じてハローワークごとに選択する評価指標(所重点指標)

所重点指標

ハローワークのマッチング機能に関する業務のうち、地域の雇用に関する課題等を踏まえ、ハローワークごとに重点的に取り組む業務に関する評価指標

- 生活保護受給者等の就職率
- 障害者の就職件数
- 新卒者支援に係る就職支援ナビゲーターの支援による正社員就職件数
- ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついた就職氷河期世代の件数
- ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついたフリーター等の件数
- 公的職業訓練修了3か月後の就職件数
- マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率
- 人材不足分野の就職件数
- 生涯現役支援窓口での65歳以上の就職件数
- その他、安定所と労働局が調整し設定するマッチング業務指標

3 職員の資質向上のための取組や継続的な業務改善の取組に関する評価指標(所重点項目)

所重点項目

中長期的なマッチング機能向上のための、職員の資質向上や継続的な業務改善の取組に関する評価指標

- 職員による事業所訪問の実施
- 職員による計画的なキャリアコンサルティング研修の受講
- 求職者担当制の実施
- 求人に対する担当者制の実施
- オンライン登録者のハローワーク利用登録者への切替
- 新規等求人の開拓
- データベースに登録された取組(好事例)の水平展開
- 他所と連携した円滑な広域労働移動のための取組
- 地方公共団体との連携の推進
- 各種業務研修の実施
- 業務改善コンクール表彰事例

ハローワーク総合評価の評価方法

ハローワーク総合評価は、年度単位で実施し、

①労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークを11グループに分け、

②年度終了後に、ハローワークごとに評価指標の実績を点数化し、同一のグループ内で相対評価を行う。

① 評価指標(主要指標・補助指標・所重点指標)ごとに、年度当初に定めた目標への達成状況を基に、点数を付与する。

A指標の目標達成率



A指標のポイント化係数



〇〇ハローワークの
A指標のポイント

(例) A指標のポイント化係数が100点、目標達成率が105%とすると、 $100点 \times 105\% = 105点$ がA指標の点数となる。

② 評価指標(主要指標・補助指標・所重点指標)の目標達成率が100%以上の場合等に、点数を加点する。

(例) 上記①のA指標の目標達成率は105%なので、105点に加え、15点を加点。

③ 評価指標(所重点項目)の実施状況を基に、点数を付与する。

※中長期的な観点から必要となる職員の資質向上のための取組や継続的な業務改善の取組を実施した場合に、取組ごとに点数を付与。

④ ①～③の点数を合計し、ハローワークごとに、総点数を計算する。

○ 11グループのうちの同一グループ内で、ハローワークごとに、総点数を比較の上、4段階（「非常に良好な成果」、「良好な成果」、「標準的な成果」、「成果向上のため計画的な取組が必要」）の相対評価を行う。

総ポイント数をもとに、グループごとに各ハローワークを4段階で評価。
令和4年度の大阪労働局管内各ハローワークの評価は下表のとおり。

評価基準

- 各グループごとに平均値を基準とし、平均値以上を類型1・2、平均値未満を類型3・4に区分

大阪労働局管内各ハローワークの評価

○総合評価(4段階)の評価類型

類型	総合評価結果の評語
類型1	非常に良好な成果
類型2	良好な成果
類型3	標準的な成果
類型4	成果向上のため計画的な取組が必要

グループ1	総合評価結果の評語
大阪東	非常に良好な成果
梅田	良好な成果
大阪西	良好な成果
阿倍野	良好な成果

グループ2	総合評価結果の評語
淀川	良好な成果
布施	良好な成果
堺	良好な成果
池田	良好な成果
茨木	良好な成果
門真	良好な成果

グループ3	総合評価結果の評語
枚方	良好な成果

グループ4	総合評価結果の評語
岸和田	良好な成果
泉大津	良好な成果
藤井寺	良好な成果

グループ5	総合評価結果の評語
泉佐野	良好な成果
河内長野	良好な成果

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

求職者を相談窓口へ確実に誘導して職業紹介に結び付けるための取組を重点的に実施しました。

11月から、2回目の失業認定日以降についても雇用保険受給者（60歳以上の雇用保険受給者と支給終了になる者を除く）全員に対して失業認定手続き後に職業相談窓口への誘導を行いました。窓口での相談時間を確保するため、誘導先を、時間をかけて相談できる窓口と簡易な相談ができる窓口に区別しました。また失業認定日毎にアンケートを取り、いずれの窓口を希望するかを確認して誘導しました。35歳未満の雇用保険受給者については、大阪わかものハローワークへ誘導して個別支援を中心とした就職支援メニューの利用を勧奨しました。

来所者を職業相談、職業紹介に繋げるため、来所者端末の利用方法のポイントをマンツーマンで相談ができる求人検索アシストサービスを開始し、併せて個別支援等の支援メニューの利用を提案するとともに、希望者に対しては求人票の見方セミナーへの積極的な誘導を行いました。

「官公庁求人」等特定の求人や求人情報誌等について、常に最新の求人情報が簡単に検索できるよう二次元コードを用いた求人掲示等の取組を実施しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者サービスの向上を目的として、職員に対して業務改善提案を募りました。提案事項について所内のCS委員会で検討し、必要に応じて実施しました。例えば、総合案内で日本語での意思疎通が難しい外国人求職者の対応をする際のツールとして、来所目的を確認するための多言語での案内資料を作成しました。また、所内掲示の案内をより分かりやすく効果的なものとするために、ポスター掲示に関するルールを制定しました。面接会等イベント情報について来所者に的確に提供できるよう、掲示用パネルを新たに設置しました。このように利用しやすい安定所となるよう、利用者目線に立った自主点検や改善を実施しました。

サービス改善及び業務改善を目指して、情報活用プロジェクトチームと総合案内プロジェクトチームを立ち上げ、担当業務にかかわらず各課・部門から1名を選出し月1回のペースで会議を開催しました。情報活用プロジェクトチームでは、就職件数及び事業所サービス向上を目的として、求職者に対して求人票だけではわからない事業所の魅力を発信し、職員が事業所訪問した際に情報収集するだけでなく、事業所が能動的にPRシートを作成して安定所に提出する手法を検討しました。総合案内プロジェクトチームでは、利用者に分かりやすいサービスを目指して、総合案内の表示や看板の見直し・集音マイクの設置、雇用保険資格決定用案内バインダーの見直し等の工夫を行いました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

さらなるサービス改善及び業務改善のため、令和5年度は情報活用プロジェクトチームと総合案内プロジェクトチームに加え安定所の周知広報のためのプロジェクトチームを立ち上げます。当所の各課・部門からメンバーを招集し、チームごとに月1回程度の会議を開催し、新たな取組を検討、実施するとともに現在の取組の効果検証を行います。

また、CS委員会を中心に、サービス改善を継続して行います。職員提案による業務改善の取組の継続、安定所間での相互点検の実施、利用者満足度調査の調査結果の振り返り及び令和5年度利用者満足度調査の円滑な実施を行います。

(4) その他業務運営についての分析等

令和5年度は、オンラインを活用した就職支援を強化していきます。求職者への来所勧奨は継続して実施するとともに、現在安定所を利用していない求職者への利用勧奨及び在職中や育児、介護などで来所が困難な求職者への提案として、オンラインでの職業相談を活用していきます。また、求職登録前のプレ相談もオンライン職業相談として対応し、その後の求職登録及び安定所の支援サービスに誘導することにより、新規求職者の開拓を図ります。

2 特記事項

当所の特徴は交通の便が良く、集客力のある商業施設が多く隣接していることです。これまでは管外（府内）、そして府外からも多くの求職者が来所していました。しかし、コロナ禍で遠方への外出を自粛する、あるいは人混みを避けるといった人々の傾向が生まれたこと、またオンラインを活用した就職活動が進んだことにより、管外（府内）及び府外からの求職者が減少しています。平成29年度と令和4年度の新規求職申込件数を比較すると、令和4年度の新規求職者数（管内）は17,912件と平成29年と比較して6.2%増加しているにもかかわらず

らず、管外（府内）では26.6%減の11,301件、管外（府外）に至っては42.2%減の2,957件でした。このような要因により、管外（府内）及び府外からの新規求職者数の減少が進んでいることも目標達成に至らなかった要因のひとつと考えられます。

3 総合評価（※）

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職 件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	ハローワークの職業 紹介により、正社員に 結びついた就職氷河 期世代の不安定就労 者・無業者の件数	生活保護 受給者等 の就職率	障害者の 就職件数	新卒者支援に係る就 職支援ナビゲーター の支援による新規卒 業予定者等(既卒者 含む)の正社員就職 件数	公的職業訓練 修了3か月後の 就職件数	マザーズハローワ ーク事業における 担当者制による 就職支援を受け た重点支援対象 者の就職率	人材不足 分野の就 職件数	生涯現役 支援窓口で の65歳以 上の就職 件数
令和4年度 実績	8,219 件	11,174 人	2,874 件	68.4%	89.9%	1,160 件	68.2%	772 件	5,425 件	459 件	96.1%	1,318 件	347 件
令和4年度 目標	8,510 件	11,400 人	2,650 件	90.0%	90.0%	1,192 件	63.3%	740 件	7,445 件	508 件	93.1%	1,479 件	303 件
目標達成率	96%	98%	108%			97%	107%	104%	72%	90%	103%	89%	114%

※ 就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人者の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成率」は、年度当初に設定した目標値に対する達成率

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

- ・求人票記載以上の情報を求職者へ提供し、マッチングを推進。

令和3年度から介護分野を中心に実施しているバーチャル見学会（事業所内や作業風景等の映像（動画等）により、当所にいながら事業所見学を体験していただく会社説明会）を、分野を拡大して実施しました。動画を活用した説明会というだけではなく、企業担当者と当所スタッフの対話形式による企業説明を行うことで、求人票には現れない企業の魅力のアピールや、求職者が知りたい情報のうち直接企業に聞きづらい情報などを提供し、求職者の応募意欲を喚起しました。また、十分な企業理解をした上で求職者が応募することにより mismatch の少ない紹介につなげることができました。参加企業、参加者からも好評であったこと、マッチングにも効果的であったことから令和5年度も引き続き実施いたします。

また、Web 朝イチ会議（当所が中心となって複数の安定所を Zoom でつなぎ、それぞれの安定所が、自所の求人を他所の職業相談担当者に PR することで求人充足可能性を高める取組）を開催し、求人票に現れない情報や企業の魅力を提供することで求人充足対策及びマッチングの推進を図りました。今まで応募が全くなかった求人が充足する等、効果が見られることから令和5年度も取り組みます。

- ・雇用保険受給者への支援を充実

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により休止していた雇用保険受給者説明会を再開し、雇用保険制度の説明と併せて再就職への意欲喚起を図りました。また、雇用保険受給者説明会の最後に職業相談部門から個別支援等の案内を行う時間を設け、個別支援等につなげた結果、雇用保険早期再就職件数の目標数達成の一助になりました。

さらに、認定日に職業相談窓口へ誘導する際に記載いただくアンケートに、安定所以外で応募された求人の条件を記載する欄を設け、本人が希望する条件に近い安定所求人を窓口で提案することで安定所の紹介就職に結びつけました。雇用保険受給者の確実な就職支援のため令和5年度も引き続き取り組みます。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

- ・職員への研修を充実

職業訓練制度、労働者派遣法、精神・発達障害者の理解を深めるための研修を実施し、担当業務以外の幅広い知識習得を促進しました。

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

- ・待ち時間対策

職業相談窓口の待合と雇用保険給付窓口の待合に設置しているモニターに投影する内容を充実しました。

○雇用保険給付窓口の待合モニターで投影する内容に「職業訓練制度の案内」「ハローワークの求人票の見方」を追加し、職業訓練制度の周知・ハローワークの求人票の見方の周知を図りました。

○職業相談窓口の待合モニターをより多くの方に見ていただける場所へ移動し、バーチャル見学会で活用した動画などを放映しました。

また、職業相談窓口の待合と雇用保険給付窓口の待合にフリーWi-Fiを活用した求人検索や動画視聴の案内リーフレットを設置し、待ち時間を有効に活用していただけるよう工夫しました。

- ・求人検索

ハローワークインターネットサービスによる検索が難しいという方に向け、当所HPに「簡単求人検索」のページを開設。また、年度末には官公庁求人を希望される方が多いことから、官公庁求人の検索方法を記載したリーフレットを作成する等、求職者の利便性向上を図りました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

- ・求人フォローアップチームを編成し、事業所サービス部門担当者と職業相談部門担当者による事業所訪問を中心とした求人情報の収集及び求人充足支援を実施いたします。

求人者マイページでの求人受理が増加する中で、求人者との接触機会が減少し、事業所情報の収集や求人票記載方法のアドバイスをする機会が減少しています。令和5年度から事業所サービス部門内に求人フォローアップチームを編成し、当所の求人の状況（充足状況や求職者ニーズ）を分析した上でターゲットを絞った求人充足支援を実施します。また、求職者ニーズを踏まえた支援を行うため職業相談部門と連携した求人充足支援を実施します。

(4) その他業務運営についての分析等

ハローワークインターネットサービスや民間求人サイトの機能の充実等により、来所者端末利用者や安定所に応募希望で来所される方が年々減少している中で、来所される方を確実に就職に結びつけるための工夫を行いました。

- ・セミナーやイベント参加者を窓口利用へつなげる工夫

当所で実施するセミナーの参加要件として、セミナー後の窓口相談をセットとすることや、セミナー参加者に求人票を配付すること等で、セミナー受講だけで終わってしまわず確実な安定所の就職支援につなげました。

- ・雇用保険受給者の失業認定日に職業相談窓口へ全員誘導

失業認定終了後、職業相談窓口を利用していただくよう雇用保険給付窓口で全員に案内を行い、安定所以外で就職活動をされている方で就職活動につまずいている方等を安定所での就職支援につなげました。

2 特記事項

・令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響は少なくなってきましたが、引き続きセミナーなどオンラインでの参加を希望される方がいらっしゃいます。オンライン・対面それぞれのメリットを生かしたサービス提供を進めてまいります。また、オンラインハローワーク紹介機能などもさらに活用して紹介に結びつけていきます。

3 総合評価 (※)

非常に良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受 給者 早期再就職 件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	ハローワーク の職業紹介 により、正社 員に結びつい た就職氷河 期世代の不 安定就労者・ 無業者の件 数	生活保護 受給者等 の就職率	就職支援 ナビゲー ターの支 援による 正社員就 職件数	ハローワー クの職業紹 介により、 正社員に結 びついたフ リーターの 件数	公的職業 訓練修了3 か月後の 就職件数	マザーズハ ローワーク 事業におけ る担当者制 による就職 支援を受け た重点支援 対象者の 就職率	生涯現役 支援窓口で の65歳以 上の就職 件数	その他安定 所と労働局が 調整し設定す るマッチング 業務指標 (Web 朝イチ 会議提案求 人にかかる充 足率)
令和4年度実績	4,693 件	12,770 人	2,621 件	71.8%	93.2%	719 件	66.9%	500 件	412 件	512 件	99.6%	388 件	24.2%
令和4年度目標	4,600 件	13,150 人	2,320 件	90.0%	90.0%	705 件	63.3%	440 件	512 件	395 件	93.1%	262 件	13.3%
目標達成率	102%	97%	112%			101%	105%	113%	80%	129%	106%	148%	181%

※ 就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成率」は、年度当初に設定した目標値に対する達成率

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

令和4年度は、雇用保険受給者の就職支援を最重要課題とし、強化する取組を実施しました。

「段階的な就職支援にかかる総合支援スキーム」を作成し、雇用保険受給にかかる初回手続きから1週間以内に求人情報を提供し、その後のフォローまでの取組等、スキームに基づいた支援に力を入れ、強化を図りました。

なお、就職活動の手順等を説明する初回講習については時間を拡大し、安定所の支援メニューをわかりやすく案内することで、安定所を活用した早期再就職を目指していただくことに結びました。

また、支援メニューの1つとして窓口での職業相談を勧奨することで、求職者担当者制（担当者による就職支援）にも繋がり、年間の目標支援者数（職員1人につき毎月2名）430名に対し、580名の実績となりました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

求人充足を意識した業務を推進するため、求人担当職員、求職担当職員等に対し、「求人充足サービス研修」を実施しました。現状の求人充足状況等を分析したデータを用い、今後取り組むべき求人充足対策のアプローチ方法について具体例を示し、職員の意識づけを行いました。

また、求職者担当者制等による就職率を向上させるため、職員による事例検討会を行い、具体的相談事例について、意見交換・検討を実施し、職員の職業相談スキルの向上を図るとともに好事例を共有することで、より多くの対応法を学ぶ機会としました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

コロナ禍の入国制限が緩和され急増した外国人求職者（留学生）に対応するため、安定所の求職登録に必要な求職申込書を簡略化し、さらに翻訳機での対応だけでなく、よく使用する文章を英語であらかじめ用意しておくなど、円滑な窓口対応に努めました。

企業の人材確保対策として、令和4年7月から人材不足分野職種の企業説明会・面接会を毎月1回実施することとし、実施回数7回・参加者98名・応募者29名・採用人数13名の実績に繋がりました。

当所のホームページ上の「かんたん求人検索」及び大阪労働局ホームページ上の「シンプル求人検索」を当所内の来所者端末でも利用でき

るように設定し、求人検索の利便性の向上を図りました。

出先機関である大阪マザーズハローワークのホームページにおいて、最寄り駅のプラットホームから施設までのベビーカーを使用した際の安全な経路について地図掲載し、利用者の利便性の向上に結びました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

今年度、人材不足分野職種で実施してきた企業説明会・面接会について、今後、他職種にも拡大し、当所の本所及び出先機関の大阪マザーズハローワーク・ハローワークプラザ難波において積極的に開催します。

また、令和5年度からハローワークプラザ難波求人コーナーを当所の本所に統合することから、より一層求人充足支援に力を入れ、求人充足会議の定期開催や積極的な事業所訪問の実施など、求人者支援の強化を図ります。

(4) その他業務運営についての分析等

大阪マザーズハローワーク及びハローワークプラザ難波の利用者が激減する中、就職件数の減少傾向を改善するためには、新規求職者の利用促進とともに出先機関を含む当所全体において、窓口対応における職業相談から職業紹介に繋げる割合を上げていくことが急務であると考えます。当所の本所と出先機関が連携を取り、職業相談窓口への誘導強化、的確な求職者ニーズの把握、求人情報の提供等を実施し、確実に職業紹介に繋げる取組を行っていきます。

2 特記事項

今年度から大阪マザーズハローワークにおいて、支援を必要としている方に必要な支援を届けるべく、アウトリーチ事業の取組を開始しました。女性支援団体や関係機関等の連携先を開拓し、セミナーや相談会等の就職支援メニューの提案・実施を行うとともに大阪マザーズハローワークの周知・利用促進に力を入れてきました。来年度は、連携先をさらに拡大するとともに、大阪マザーズハローワークと連携先をオンラインで繋ぎ、職業相談を実施するなど、連携先のニーズに合わせた支援を提供する努力をしてまいります。

3 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

4 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受 給者 早期再就職 件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	生活保護受 給者の就職 率	障害者の 就職件数	新卒者支援 に係る就職 支援ナビゲ ーターの支 援による新 規卒業予定 者等(既卒 者含む)の 正社員就職 件数	ハローワー クの職業紹 介により、 正社員に結 びついた就 職氷河期世 代の不安定 就労者・無 業者の件数	公的職業訓 練修了3か 月後の就職 件数	マザーズハ ローワーク 事業におけ る担当者制 による就職 支援を受け た重点支援 対象者の就 職率	人材不足分 野の就職件 数	生涯現役支 援窓口での 65歳以上 の就職件数
令和4年度実績	4,174 件	8,044 人	1,671 件	81.7%	95.2%	77.9%	434 件	201 件	723 件	317 件	94.1%	876 件	131 件
令和4年度目標	4,700 件	8,500 人	1,700 件	90.0%	90.0%	63.3%	415 件	209 件	790 件	281 件	93.1%	1,038 件	113 件
目標達成率	88%	94%	98%			123%	104%	96%	91%	112%	101%	84%	115%

※ 就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成率」は、年度当初に設定した目標値に対する達成率

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

○雇用保険受給中の方へのサービスの強化

- ・雇用保険受給中の方に向けたセミナーを新たに4種類用意しました。

I 模擬面接体験セミナー

II 自己PRアピールポイント発見セミナー

III 職業を知る！自分を知る！jobtag&ハローワークインターネットサービス活用セミナー

IV 雇用保険受給制度セミナー

- ・求職者個々の条件に合う求人を事前に用意し、失業認定日で来所した際に提供するサービスを開始しました。
- ・日々条件に合う求人を求職者マイページにより提供するとともに、自宅に居ながら職業紹介を受けることができるサービス（Jobオファーサービス）を開始しました。

○求人確保・充足に向けた取組

- ・過去に安定所を利用された求人者のうち、直近での利用が低調な求人者を対象に、電話等により状況確認等を行った結果、新たに1,133件の求人確保につながりました。
- ・直接企業から情報を得られる機会を増やすため、面接会等のイベント開催を前年度から大幅に増やしました（26回→63回）。

○施設利用者の増加に向けた取組

あべのわかものハローワーク開設10周年記念イベント（セミナー及び面接会）の開催やSNSを活用（Twitter投稿回数233回、LINE投稿回数61回）したPRを実施しました。

また、しごと情報ひろば天下茶屋では施設案内の看板及びポスター、リーフレット等をリニューアルしました。

- ・あべのわかものハローワーク（新規求職者数：対前年度比 3.7%アップ）
- ・しごと情報ひろば天下茶屋 阿倍野ハローワークコーナー（新規求職者数：対前年度比20.4%アップ）

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

○求人検索の操作性の改善

インターネットでの求人検索の操作を簡単にしたツール（シンプル求人検索）を当所ホームページに掲載しました。

また、パソコン端末の操作に不慣れな方が多いシニア層に向け、更に操作を簡単にした求人検索ツール（ワンクリック求人検索）も併せて掲載しました。

○シニア層に向けた情報提供コーナーの充実

高齢者向け求人コーナーのスペースを拡充しました（2席→4席）。

○求人情報提供の強化

職業紹介窓口の利用者に対して、窓口で新たな選択肢を提供することを目的に、プロ目線で選定した1件以上の求人票を必ず提供する「プラスワン検索サービス」を開始しました。

○待ち時間の短縮及び待合スペースの拡充

説明内容や確認書類が多く相談時間が比較的長くなる職業訓練相談窓口では、他の相談窓口に比べ待ち時間が長いといった問題がありましたが、職業訓練の申込み等の一連の説明内容のうち統一・標準化が可能な部分は、後日説明会を実施し、多人数に対して一度に説明することで、窓口での相談時間短縮及び窓口利用者の待ち時間短縮につなげました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

雇用保険を受給中の方に対し、独自の取組を実施するなどサービスを強化しましたが、職業相談窓口の利用者数は、コロナ禍以前の水準に達していない状況です。このため、職業相談窓口の利用につながるサービスの更なる強化に取り組めます。

(4) その他業務運営についての分析等

自身のスマホやパソコンで安定所が受け付けた求人を確認することができる「ハローワークインターネットサービス」の影響もあり、安定所内の来所者端末の利用者数は減少傾向となっています。また、求職活動においては、インターネットでの情報収集やオンライン応募などの割合が増加しており、従来の求職活動のスタイルに変化を感じます。今後、より多くの方に利用いただけるよう、変化するニーズに合わせたサービスの提供に努めます。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受 給者 早期再就職 件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	生活保護受 給者等の就 職率	障害者の就 職件数	新卒者支援 に係る就職 支援ナビゲ ーターの支 援による新 規卒業予定 者等(既卒 者含む)の 正社員就職 件数	ハローワー クの職業紹 介により、正 社員に結び ついた就職 氷河期世代 の不安定就 労者・無業 者の件数	公的職業訓 練修了3か 月後の就職 件数	マザーズハ ローワーク 事業におけ る担当者制 による就職 支援を受け た重点支援 対象者の就 職率	生涯現役支 援窓口での 65歳以上の 就職件数	一体的実施 事業(一般 形)の 就職件数
令和4年度実績	6,966 件	6,304 人	3,081 件	63.9%	94.0%	67.0%	991 件	757 件	1,089 件	677 件	94.5%	292 件	1,224 件
令和4年度目標	7,400 件	6,550 人	2,920 件	90.0%	90.0%	63.3%	853 件	750 件	969 件	544 件	93.1%	282 件	1,210 件
目標達成率	94%	96%	105%			105%	116%	100%	112%	124%	101%	103%	101%

※ 就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人者の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成率」は、年度当初に設定した目標値に対する達成率

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

能動的な取組である就職面接会（「よどがわ・はたらく Day」等）について重点的に取り組みました。具体的には求人受理・事業所訪問時に事業所情報を収集し、求職者に興味を持ってもらえるような求人票となるよう工夫するとともに、魅力的な事業所 PR シートを作成・掲示したうえで、就職面接会の参加に結びました。

就職面接会については、吹田市との雇用対策協定の事業計画に基づき、計画時点から吹田市と綿密に情報交換を行う等、連携を図り取組を進めてきました。実績としては7回の開催で、参加事業所47社、参加求職者数192名、就職件数36件でした。また、よどがわ☆はたらく Day については26回の開催で、参加事業所数26社、参加求職者数69名、就職件数25件でした。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

①オンラインツールの活用について

利用者の利便性を踏まえ、引き続き Zoom による各種セミナーを実施しました。求職者向けには、マザーズコーナーで子育てをしながら就職を希望する方等を対象とした「仕事と家庭の両立応援セミナー」において、「How To 両立編」「Start☆就活編」の2種類を交互に実施（計11回、参加者481名）し、求職者全般に対しては「面接の基本オンラインセミナー」を実施（計12回、参加者393名）しました。また、人材確保対策コーナーでは「はじめての業界を知ろう！～介護編～オンラインセミナー」を実施（計3回、参加者96名）しました。

事業所向けには専門援助第1部門で就労移行支援事業所に対し「ハローワークの活用法」についてのオンラインセミナー（計2回、67社参加）を実施したほか、就労移行支援事業所以外の事業所に向けて、障害者雇用促進セミナーを実施（1回、46社参加）し、障害者雇用への理解を深める機会を提供しました。

②雇用保険受給者の就職促進について

コロナ禍による行動制限が緩和された昨年度後半から、来所型の初回講習会の実施、初回認定日以降の職業相談窓口への誘導、失業認定窓口での求人情報の提供等の取組を実施しました。

③地域住民への安定所の周知について

「就活するなら使ってみようハローワーク」と題して、求人件数に占める労働条件相違件数の割合をもとに、「99.93%の求人が、求人票の記載内容と実際の労働条件に相違がありません（令和3年度）」とPRするリーフレットを作成し、管内自治体・図書館・商工会議所・自衛隊案内所等に配布し配架依頼することで新規求職者の利用促進に努めました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

「人材不足分野の就職件数」については目標達成ができなかったことから、主な人材不足分野である福祉の仕事について事業所説明会を実施し、求職者に福祉の仕事の魅力を発信していくことで、福祉の仕事を経験の方にも知ってもらい、そこから応募・就職へと繋げていきます。

(4) その他業務運営についての分析等

5月に全職員を対象とした「重点事業計画・目標管理研修」を実施するとともに、PDCA管理表（目標に対する進捗状況）を随時掲示し、PDCA通信を月1回発行し、目標数値を意識して業務を行うよう意欲喚起を行い、一丸となって取組を進めました。実績については主要指標のうち、就職件数は4,048件（達成率100.4%）、充足数は6,326件（達成率102.0%）、雇用保険受給者の早期再就職件数は2,760件（達成率108.2%）と目標を達成しました。

また、所重点指標については人材不足分野の就職件数（953件、達成率96.8%）が目標に届かなかったものの、障害者の就職件数（570件、達成率100.5%）、新卒者支援に係る就職支援ナビゲーターの支援による新規卒業予定者等（既卒者含む）の正社員就職数（318件、達成率100%）、ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついた氷河期世代の不安定就労者・無業者の件数（645件、達成率112.4%）、公的訓練修了3ヶ月後の就職件数（529件、達成率131.9%）、マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率（96.2%、達成率103.3%）については目標数を上回りました。

2 特記事項

「ハローワークよどがわYouTubeチャンネル」を活用し、積極的にサービスメニュー（人材確保対策コーナーのPR、窓口利用案内）の周知を実施しました。また、地方自治体と共催する就職面接会の参加事業所の周知を図る際にもYouTubeを活用し、全ての動画を合わせると1年間で3万回を超える視聴回数となりました。

3 総合評価（※）

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給 者 早期再就職件 数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	障害者の就職 件数	新卒者支援に 係る就職支援 ナビゲーターの 支援による新 規卒業予定者 等(既卒者含 む)の正社員就 職件数	ハローワークの 職業紹介によ り、正社員に結 びついた就職 氷河期世代の 不安定就労者・ 無業者の件数	公的職業訓練 修了3か月後 の就職件数	マザーズハロ ーワーク事業 における担当 者制による就 職支援を受け た重点支援対 象者の就職率	人材不足分野 の就職件数
令和4年度実績	4,048 件	6,326 人	2,760 件	69.1%	90.8%	570 件	318 件	645 件	529 件	96.2%	953 件
令和4年度目標	4,030 件	6,200 人	2,550 件	90.0%	90.0%	567 件	318 件	574 件	401 件	93.1%	984 件
目標達成率	100%	102%	108%			100%	100%	112%	131%	103%	96%

※ 就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成率」は、年度当初に設定した目標値に対する達成率

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、主要指標の達成に向けて主に①高年齢者への就職支援、②ミニ面接会の開催、③地域との連携に重点的に取り組みました。

①高年齢者への就職支援：新規求職者の35%近くを占める高年齢者の就職を促進するため、所内で「シニア面接会」を4回開催しました。実績としては、参加事業所数：4社、参加求職者数：22名、紹介件数：29件、就職件数：2件でした。また、毎月実施している高年齢者セミナーを1回から2回へ増やし、他の介護セミナー、東大阪市主催の高年齢者向けセミナーを含め参加者に専用の求人情報誌を配付しました。さらに、事業所サービス部門がピックアップした高年齢者向け求人を職業相談窓口のバックヤードに配架し、求人の条件緩和等があればマーカー等で記すことで情報共有を図り情報提供につなげました。

②ミニ面接会の開催：職業相談部門と事業所サービス部門が連携し、所内ミニ面接会を開催しました。「シニア面接会」、「ものづくり会社説明会・面接会」、「介護面接会」、「氷河期世代対象面接会」、「ワークサポート八尾ミニ面接会」等計18回開催し、実績としては、参加事業所数：21社、参加求職者数：104名、紹介件数：140件、就職件数：15件でした。

③地域との連携：管内の東大阪市・八尾市と連携し、「就職氷河期世代」、「子育て世代」、「介護」、「障害者」等多様な層を対象にセミナーや就職面接会等のイベントを8回開催しました。実績としては、参加事業所数：133社、参加求職者数：333名、紹介件数：313件、就職件数：61件でした。

また、八尾市地域職業相談室については、地域住民の方への利用促進を強化するため、八尾市と連携し周知に積極的に取り組み、セミナーやミニ面接会も開催しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

①職業紹介窓口と雇用保険資格決定後の窓口を令和4年7月に統合したことにより、窓口の混雑解消を図り、かつ雇用保険受給者の取組強化を図りました。

②シニア向け求人情報誌を令和5年2月に刷新し、高年齢の方が手にとりやすく、見やすい冊子にしました。

③参加希望者が多いセミナー「55歳以上の方のためのセミナー」及び「福祉（介護）のお仕事入門セミナー」を月1回から2回開催へ増やし、利用者のニーズに応えました。

④ホームページの面接会情報にハローワークインターネットサービスをリンクさせ、詳細な面接会求人情報の表示を簡単にできるようにしました。

⑤制度改正により令和4年7月から求職者支援訓練の希望者が増加し、就職支援計画書発行対象者が激増することで窓口の待ち時間が長くなることが想定されたため、就職支援計画書を集合形式で交付することとしました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

①雇用保険受給者に対する就職支援の取組として、令和5年2月から初回講習と雇用保険受給説明会をすべてオンライン型から参集型に切り替えたことにより、終了後に質問希望者が雇用保険給付課の窓口を訪れ、窓口の混雑が発生していました。

そこで、令和5年4月から「よくある質問」に再就職手当の内容を追加したリーフレットを作成し、雇用保険受給説明会で配付することで、受給に関する理解を深めています。

②高年齢者に対してより丁寧な来所者端末の利用方法の説明、積極的な声かけによる職業相談窓口への誘導等ができるよう、フロアナビや総合案内担当への研修等を行い、シニア層にさらにやさしい安定所を目指していきます。

③インターネットによる求人・求職活動が主流となる中、求人者・求職者の安定所の利用が途切れてしまわないように、求人者には事業所訪問や電話によるアプローチを、求職者にはマイページや郵送等による求人情報提供や電話による来所勧奨に取り組むことで、常に安定所との接点を持ってもらうことを意識して取り組んでいきます。

(4) その他業務運営についての分析等

紹介件数は前年度比6.7%減少したものの、適格なマッチングにより就職件数は前年度比5.8%増加し、年間の目標数値も達成しました。しかし、充足数については当所管内の主要産業である製造業において、コロナ禍や物価高騰に加え若年者の製造業離れの影響もあり前年度比1.7%減少となり目標数値に届きませんでした。今後は、事業所サービス部門と職業相談部門がさらに連携しながら、求人者・求職者ニーズを共有し、事業所訪問やミニ面接会の開催に共同で取り組むことで、求人の充足に努めていきます。

2 特記事項

・正社員での就職を希望する概ね35歳以上の就職氷河期世代の方への支援について、求人受理窓口において求人者へ就職氷河期世代限定・歓迎求人の説明・提案を強化することにより前年度比220.7%増の求人を確保することができたこと及び「35歳からのキャリアアップコーナー（就職氷河期世代支援窓口）」が中心となり就職氷河期世代の方に対しニーズに応じた個別支援や就職面接会・セミナー等を開催し就職支援のための様々な取組を行ったことにより、就職件数956件、目標達成率114.4%という結果に繋げることができました。

・SNSを活用した広報として、大阪労働局 YouTube チャンネルにて「ハローワーク布施×八尾市コラボ企画」と称したイベント情報を八尾市の職員とともに作成し動画配信（再生回数：マザーズおしごとフェア 221回、就職氷河期世代対象セミナー・面接会 227回）しました。また、大阪労働局及び八尾市の公式 Twitter を利用し、普段ハローワークを利用していない方にも情報を発信しました。

3 総合評価（※）

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受 給者 早期再就職 件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	生活保護受 給者等就労 自立促進事 業の就職率	障害者の 就職件数	ハローワークの職 業紹介により、正 社員に結びつい た就職氷河期世 代(35歳～54歳) の不安定就労者・ 無業者の件数	公的職業訓練 修了3か月後の 就職件数	マザーズハロー ワーク事業にお ける担当者制 による就職支援 を受けた重点支 援対象者の就 職率	生涯現役支 援窓口での 65歳以上の 就職件数
令和4年度実績	5,891件	5,993人	2,901件	70.0%	88.6%	74.5%	681件	956件	481件	103.1%	326件
令和4年度目標	5,800件	6,280人	2,670件	90.0%	90.0%	63.3%	609件	836件	404件	93.1%	241件
目標達成率	101%	95%	108%			117%	111%	114%	119%	110%	135%

※ 就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成率」は、年度当初に設定した目標値に対する達成率

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

- * 求人充足に向けた取組として、「若年者支援」、「人材確保分野支援」、「泉北地域支援」、「生涯現役（高年齢者）支援」、「仕事と家庭の両立支援」、「製造業支援」、「氷河期世代支援」の担当分野ごとに「朝一充足会議」を全56回開催し、各種支援策（ミニ面接会の開催、求人情報誌への掲載等）を検討しました。また、積極的な情報発信として、事業所訪問等で収集した企業情報を「私たちの街の企業 いちおし情報」として動画を流すなど、情報発信の強化を図りました。
- * 若年者向け就職支援である「就活DASH!塾」を3回開催したほか、オンラインセミナーに参加する求職者に対して相談希望票等を配付して相談窓口の利用を促進し、窓口での積極的な求人情報の提供を行うなど対象者のニーズに応じた支援に取り組みました。
- * 堺市全区にて就職支援セミナーを開催し、各区役所との連携体制の構築と地域住民へのサービスの提供を行いました（南、美原、北、中、東、西区で延べ126名受講、堺区は随時開催）。
- * 堺市雇用対策協定に基づき、堺市・堺商工会議所と共催で「さかい就職氷河期世代&若年者就職面接会」「さかい障害者就職面接会」「さかい若年者&ミドル世代会社説明・就職面接会」「さかいシニア就職面接会」等を開催しました。また、堺市と連携して「障害者雇用促進セミナー」の開催や、堺市職員に対して「精神・発達障害者しごとサポーター養成講座」を実施するなど、障害者の雇用促進に共同で取り組むことで信頼関係の構築を図りました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

職業相談部門スタッフの連携、キャリアコンサルティング技能の向上に向けた「職業相談事例研究会」を3回開催し、就職支援サービスの充実と連携強化を進めました。また、職員の今後のキャリアアップを図るため、労働関係法令に関する知識を高める「労働法研修」や、面接会等の各種イベントを若手職員に経験させる研修などを積極的に行っています。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

- * 施設の周知、利用促進のため広報強化チームを立ち上げ、当所ホームページの中に「かんたん求人検索ページ」の作成、トップページの

リニューアル、ハローワークプラザ泉北のホームページにも業務内容やアピールポイントの記載、フロア内の写真を掲載するなど、初めて利用する方にも分かりやすいよう工夫しました。

*他の安定所の好事例を積極的に取り入れ、求人票にポップ表示を加え視覚的に目立つようにしたほか、ハローワークプラザ泉北へ職業訓練出張相談を実施し、ハローワークプラザ泉北を利用する付加価値の向上と職業訓練の受講促進を図りました。

*雇用保険を受給される方に対して2回目以降の失業認定日も積極的に職業相談窓口へ案内するなど、多くの求職者に対して就職促進を行うことができる体制を整備しました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

コロナ禍以降、安定所に来所される方が大きく減少しております。令和5年度は、新規求職者に対し、登録後一定期間経過後に求職者マイページ等を利用した情報提供を行い来所のきっかけを作ることや、待ち時間の平準化のために職業相談窓口を大グループ化、堺東駅前庁舎においてもミニ面接会を実施するなど、「職業相談窓口の利用促進」「魅力的な求人の確保と発信」「所内連携と情報共有」を軸にしてサービス・業務改善に取り組みます。

(4) その他業務運営についての分析等

堺マザーズハローワークは、新型コロナウイルス感染症の影響等により利用者の減少が続き、年度末で新規求職者数が前年度比19.5%減、就職件数が同3.7%減となりましたが、令和5年1月以降は改善の傾向が見られます。また、ハローワークプラザ泉北は、新型コロナウイルス感染症及び令和3年11月の移転の影響等により利用者の減少が続き、年度末で新規求職者数が前年度比6.7%減、就職件数が同4.5%減となりましたが、令和5年1月以降は改善の傾向が見られます。

上述のとおり、出先機関の利用者も一定の回復基調にあると判断していますが、当所の本所を含め最近の紹介件数の低下が懸念されるところであり、引き続き利用者への周知、広報及び業務の改善を図ってまいります。

2 特記事項

*堺市全区での就職支援セミナー開催にあたっては、事前に所長が各区役所を訪問して意見交換を行いました。そのつながりから、区長のツイッターに堺マザーズハローワーク、ハローワーク堺職業紹介コーナー、ハローワークプラザ泉北が掲載され、安定所の周知にご協力いた

できました。

*また、新型コロナウイルス感染症について、緊急事態宣言の発令、行動制限はなかったものの、第7波（令和4年7月～9月頃）及び第8波（令和4年11月～令和5年1月頃）の感染拡大による来所者数等の減少、当所職員の感染や濃厚接触者の増加により業務体制に支障が生じるなど、計画的な事業展開に影響がありました。

3 総合評価（※）

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給 者早期再就職 件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	ハローワークの職 業紹介により、正社 員に結びついた就 職水河期世代の不 安定就労者・無業 者の件数	障害者の就職 件数	ハローワーク の職業紹介に より、正社員に 結びついたフ リーターの件 数	公的職業訓練 修了3か月後 の就職件数	マザーズハロー ワーク事業にお ける担当者制に よる就職支援を 受けた重点支援 対象者の就職率	生涯現役支援 窓口での65 歳以上の就職 件数
令和4年度実績	6,234 件	5,959 人	2,747 件	69.1%	94.3%	969 件	549 件	620 件	401 件	95.9%	351 件
令和4年度目標	6,600 件	6,400 人	2,760 件	90.0%	90.0%	888 件	558 件	612 件	357 件	93.1%	268 件
目標達成率	94%	93%	99%			109%	98%	101%	112%	103%	130%

※ 就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人者の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成率」は、年度当初に設定した目標値に対する達成率

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、企業よりいただいた求人の充足を最重要と考え「求人の充足（求職者の就職）→企業からの信頼を得る→さらに良質な求人を得る」という好循環を目指し、企業情報の収集と求職者への情報発信について重点的に取り組みました。

具体的には、企業担当が求人受理時に聞き取った求人票+α情報、求人企業訪問取材によるインタビューや企業内の写真で作成した「ハローワーク池田が取材しました！」という求職者へ伝えるためのシートを職業紹介担当者と共有し、所内掲示や求職者マイページへの送信等を実施し、求職者がわかりやすい求人情報の発信に取り組みました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

- ・若手職員を対象に、未経験の業務を一定期間従事させる研修を実施し、将来を見据えた職員の資質向上を図りました。
- ・雇用保険担当職員を対象に、必要な各種労働法の知識を幅広く習得させるため、労働基準監督署と共同で研修を実施しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者アンケートでは、「来所者端末の使い勝手が悪い」「簡単に求人検索できない」などの意見が多かったため、当所管内の求人検索を当所のホームページからワンクリックで簡単に検索できるよう、改善を行いました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

人材不足分野の就職件数が低調であったことから、その業界の業務内容や職種内容の理解を進める取組を行い、就職面接会の参加へ繋げていきます。具体的には、「介護の仕事をはじめようセミナー」や「オンラインでのお仕事相談会」「タクシー乗務体験会」等を定期的に開催します。

（4）その他業務運営についての分析等

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、参集による「セミナー」「面接会」「体験会」等のイベントが積極的に開催できず、やむを得ず規模を縮小しての「オンライン開催」や「中止」にせざるを得ないケースがありました。今後は情勢を見ながら、参集型のイベントを積極的に開催したいと考えております。これからも利用者を増やし、魅力ある安定所を目指していきます。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険 受給者 早期再就 職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	ハローワーク の職業紹介 により、正社 員に結びつい た就職氷河 期世代の不 安定就労者・ 無業者の件 数	障害者の就 職件数	公的職業 訓練修了3 か月後の 就職件数	マザーズハロー ワーク事業にお ける担当者制 による就職支援 を受けた重点支 援対象者の就 職率所で選択 して記載	人材不足分野 の就職件数	生涯現役支援 窓口での65歳 以上の就職件 数
令和4年度実績	4,184 件	3,240 人	2,049 件	58.8%	93.3%	581 件	400 件	265 件	94.2%	1,102 件	212 件
令和4年度目標	4,160 件	3,260 人	1,840 件	90.0%	90.0%	526 件	335 件	249 件	93.1%	1,146 件	181 件
目標達成率	100%	99%	111%			110%	119%	106%	101%	96%	117%

※ 就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成率」は、年度当初に設定した目標値に対する達成率

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

- ・当所では、就職件数の目標達成を最重要と考え、重点的に進めることとし、求職者に対して「こんな求人がありますよ」と提案を行う「プラスワン紹介」や面接会（管内市町との合同就職面接会や所内で行うシニア面接会・ミニ面接会など）に力を入れました。特に、管内市町と連携して実施する合同就職面接会は、求職者と求人者の地元でのマッチングを目指し、合同就職面接会（5回）、障害者就職面接会（3回）を実施し（参加企業数 121 社、参加者数 361 人、就職数 46 件）、各市町からも事業の継続の要望をいただいています。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

- ・また、求人の充足数を高めるため、職員が事業所訪問をした際は、求人票だけでは分からない職場の写真や仕事内容についての情報を事業所 PR シート「職員が訪問してきました！」にまとめ、所内掲示を行い求職者の視覚に訴える情報提供を行いました。人材確保対策コーナー実施の面接会（介護・保育）、シニア面接会などでも事業所 PR シートを作成し求職者へ配付するなど周知に活用しました。様々な事業所の現場を見学し、働いている方の生の声をお聞きすることが、求人充足だけではなく職員の資質向上にも役立っていると感じており、令和5年度も継続して行っていきます。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

- ・高齢者の方の利用が増加しており、なかには来所者端末での求人検索が難しい方もおられることから、窓口での情報提供のほか、「60歳以上歓迎求人」の紙ファイルによる展示を開始しました。また、当所のホームページに「かんたん求人検索」ページを作成、当ページ内に「高齢者が応募しやすい求人（フルタイム・パート）」ボタンを設置し、高齢者の方に手軽に求人を探していただける工夫を行いました。
- ・職業相談部門及び事業所サービス部門の職員間で受理した求人にかかわる情報を共有するマッチング会議（週1回）の開催に加え、情報を随時共有するための「おすすめ求人」共有ファイルを作成し、各課・部門の職員がいつでもアクセスし情報を共有できるように改善しました。

- ・職業訓練窓口の職員が、デジタル分野の職業訓練の具体的なカリキュラム内容や就職支援内容、就職状況等について把握し求職者へ案内できるようにするため、デジタル分野の職業訓練施設を計画的に訪問し見学しました。また、職種検討中の求職者に対し、モノづくり系の職業訓練施設の案内を行うことで職業訓練コースの周知を行いました。これらの取組等により、職業訓練の受講開始者数が大幅に増加しました。
- ・障害者の就職促進のため、地域の支援機関と連携したチーム支援を行うとともに、障害者の就労移行支援事業所の利用者を対象とした安定所のガイダンスを年間5回実施し、安定所の利用促進を行いました。また、窓口での選職に迷いがある若者、再就職に向けて解決すべき心理的な課題を抱えている若者などを支援するため、三島地域若者サポートステーションとの連携を深め、安定所での出張相談（毎月1回）を実施し、相談、職業適性検査を案内しました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

- ・当所の新規求職者数は、ここ数年、横ばいの状態にある一方で、相談件数、紹介件数については減少傾向にあり、令和4年度の就職者数は残念ながら目標件数を達成することができませんでした。令和5年度は、「積極的な支援」をモットーに来所いただいた求職者に満足していただけるサービスを行っていきます。まずは、来られた求職者に対して満足していただけるサービス（「待たせない」「丁寧かつスピード感を持って相談を行う」「能動的な相談」）を実施することで、安定所のリピーターを増やしていきたいと考えています。
- ・相談件数については、令和4年度後半から開始した雇用保険の受給資格決定時の求人情報提供を徹底し、安定所求人を知っていただく機会を増やすことで、再度の窓口利用を促していきます。また、給付制限ありの受給者に対して行っている窓口案内書類による呼び出し相談を強化することで、給付制限中の受給者の早い時期からの安定所利用につなげていきたいと考えています。
- ・紹介件数については、求職者マイページのメリットを求職者に周知することで開設を促し、開設から早期の情報提供を強化することで紹介につなげていきます。また、求人担当者制（担当者による求人充足支援）対象求人については、原則、事業所訪問により情報収集を行い、支援メニューを実施するとともに、事業所PRシートを作成し所内に掲示、求職者に周知を行うことで、紹介率の向上を図ります。

(4) その他業務運営についての分析等

- ・新規求人数は、コロナ禍の落ち込みから回復を見せ増加傾向にあります。令和5年度は、令和4年度から取り組んでいる事業所訪問による求人についての情報収集及び求職者への情報提供に力を入れるとともに、求人受理時の内容確認や指導・修正依頼を確実にし労働市場情報の提供や求人条件の緩和により、事業所及び求職者からの信頼性を高めます。また、求人者マイページの利用促進を行っていきます。

2 特記事項

- ・令和4年度については、コロナ禍でもできることを意識し、完全予約制の面接会の開催や子育て世代対象のオンラインセミナー、オンライン事業所見学会の実施など、オンラインを活用した業務運営に積極的に取り組みました、

3 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	ハローワーク の職業紹介 により正社員 に結び付い た就職氷河 期世代の不 安定就労者・ 無業者	障害者の就職 件数	新卒者支援に係 る就職支援ナビゲ ーターの支援によ る新規卒業予定 者等(既卒者含 む)の正社員就職 件数	公的職業訓 練修了3か 月後の就職 件数	マザーズハロー ワーク事業にお ける担当者制 による就職支援 を受けた重点 支援対象者の 就職率	生涯現役支 援窓口での 65歳以上の 就職件数
令和4年度 実績	4,027件	3,581人	2,367件	65.9%	88.5%	606件	537件	499件	442件	98.8%	251件
令和4年度 目標	4,370件	3,900人	2,220件	90.0%	90.0%	546件	478件	375件	318件	93.1%	233件
目標達成 率	92%	91%	106%			110%	112%	133%	138%	106%	107%

※ 就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成率」は、年度当初に設定した目標値に対する達成率

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

○当所では、今年度もコロナ禍が続く状況の中、新規求職者や求人開拓のために周知・広報を強化する必要があると考え、昨年度に引き続き、地方自治体等と連携した共催事業（就職面接会・就職支援セミナー・出張ハローワーク）について、感染対策を徹底しつつ重点的に行い、求職者、求人者の地元での活動の場を広げるための取り組みを行いました。各自治体が市報やポスター掲示、SNS等での広報を行った結果、多くの方々に参加していただくことができました（連携事業開催数19回、面接会等参加者数109名、出張ハローワーク等参加数238名）。

○障害者の雇用促進と事業所へのマッチングを図るため、新たに地域の福祉施設等と連携して、10月19日に障害者雇用に関心のある事業所向けに「障がい者雇用ナビゲーションセミナー」を開催、さらに12月12日に就労支援機関の利用者及び特別支援学校の生徒等を対象に「就労セミナー&面接体験会」を開催し、事業所と求職者のマッチングに寄与しました。さらに、障害者就職面接会として、9月20日に当所で開催（3社、6求人、参加者21名）、2月21日に大東市のサーティーホールで開催（6社、7求人、参加者47人）し、地域の障害者雇用の促進に寄与しました。

○門真市内で令和5年4月に開業するららぽーと門真・三井アウトレットパーク大阪門真のオープニングスタッフ確保に向けて、安定所への求人提出勧奨、合同求人フェア参加事業所の確保及びフェアの周知を行いました。令和5年1月31日・2月1日及び3月14日に合同求人フェアを当所で開催し、多くの事業所・求職者に参加していただきました（参加事業所数23事業所、フェア参加者289名、就職件数41件）。

○大東市地域職業相談室については、コロナ禍以降利用者が減少し続けていたため、新たに大東市役所及び大東市内の図書館等の公共施設にポスターの張り出し、チラシを配架したほか、四條畷市役所にもチラシを配架しました。さらに近隣の商業施設において配架していた「応募しやすい求人（フルタイム・パート）」求人情報誌を、新たにJR学研都市線沿線の駅（忍ヶ丘駅・四條畷駅）にある四條畷市役所の広報ラックへ配架し、周知の強化・利用の勧奨を行いました。

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

○求職者向けサービスとして、当所のホームページ（トップページ）に ★求人検索が簡単にできます！★ として、①主な条件を選んで検索『シンプル求人検索』、②60歳以上の方が応募しやすい求人『かんたん求人検索』、③『ららぽーと門真・三井アウトレット（フルタイム）かんたん求人検索』、④『ららぽーと門真・三井アウトレット（パート）かんたん求人検索』のボタンを新設し、求職者の求人検索の利便性を図りました。

また、「マザーズコーナー」ページを新設し、マザーズコーナーの利用方法やセミナー情報を掲載したほか、『仕事と家庭が両立できる求人』を近隣の市区ごとに検索できるボタンを作成しました。さらに『仕事と子育てが両立できる求人』情報誌を新たに作成し、マザーズコーナーの利用促進を図りました。

○求人充足サービスとして、『ららぽーと門真・三井アウトレットパーク大阪門真』の求人展示コーナーを新設し、面接会等イベント情報の発信や求人ファイルを作成する等、求人情報の発信を行いました。

○求職者の待合に設置しているTVモニターに、当所の利用方法や職業訓練情報、面接会の情報を流し、周知を行いました。

○来所者端末の活用が難しい高齢者向けに、高齢者が応募しやすい求人ファイルを地域別で作成していましたが、新たに職種別の求人ファイルを作成し、求人検索の利便性を図りました。

○雇用保険の資格決定時に記載いただく「再就職アンケート」をもとに、情報提供（求人情報誌やセミナー開催予定一覧等）を行うことで、積極的な利用勧奨を行いました。初回の失業認定時には、昨年度に引き続き、職業相談窓口（再就職サポートコーナー）へ誘導し、早期再就職のメリット、各窓口で求職者のニーズにあった支援メニューの案内、「就職までの基本的なステップ」をより効果的に活用することで、就職までの予定を逆算方式で立ててもらい、必要に応じて個別支援へ案内、求人情報の提供を行うことで、早期再就職の意欲を促しました。

○求人確保のために、月末に有効期限を迎える求人の会社や、充足せず求人の有効期限を迎えたまま、現在求人を提出していない会社に対し、求人者マイページ等を活用した求人申込みの勧奨を行うことで、求人確保に努めました。

○安定所の事業所向けサービスメニュー周知のため、「ハローワーク門真 求人ガイド」を作成し、初めて当所の求人窓口を利用する事業主に配布し、求人窓口の利用案内・周知を図りました。

○当所内の「求人展示コーナー」の求人情報を見やすくするため、求人区分ごとに色紙を使用し求人展示を見やすいよう変更しました。

○人材不足分野である保育士確保のため、大阪府社会福祉協議会に講師協力を依頼し、新たに「保育就職・復職セミナー」を開催しました。セミナーでは、大阪府社会福祉協議会による講演のほか、守口市・門真市・寝屋川市から3園の採用担当者にお越しいただき、各園の説明をしていただくなど保育士への就職・復職のためのセミナーを実施しました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

○令和5年度も引き続き地方自治体との連携強化に努め、守口・門真の両市と大東・四條畷の両市との合同就職面接会や障害者面接会を開催します。地方自治体の協力を仰ぎながら広く周知広報を図り、地域に根付いた求人・求職サービスを提供していきます。

○安定所の利用促進を図るため、当所の立地により交通利便性が悪く、来所しにくい大東市・四條畷市の方々に利用していただくため、引き続き両市での出張ハローワークを定期的で開催します。

○当所を利用することが不便な大東・四條畷地域の障害のある潜在的な求職者の利用促進と障害者サービス向上のため、大東市と共催で、ハローワーク出張就労相談を定期的で開催します（年2回程度）。

○求職者マイページ利用促進のため、職業相談窓口の待合いのモニターに、安定所の利用方法から利用のメリットまでの説明動画を上映するほか、就職説明会・面接会企業のパンフレットや写真等の画像情報も上映し、求職者に対し事業所イメージの情報提供を図る等、視覚に訴える情報提供に取り組みます。

○当所の採用結果から、60歳以上求職者の属性を抽出したリストと、採用となった求人票を職業紹介を行う際の参考資料とすることで職業紹介の精度を高めるとともに、事業所サービス部門でも求人受理時に高年齢者が応募しやすい求人の確保に努めます。

○これまで同時に開催していた初回講習と雇用保険説明会を分離開催し、初回講習では再就職のための安定所利用方法の周知強化を行い、積極的な窓口の利用勧奨を行います。

(4) その他業務運営についての分析等

○高年齢求職者が占める割合が多い当所の特徴を踏まえ、60歳以上の応募可能な求人や製造関係の職種や事務職を担当者制による支援を行う求人を選定し、充足するための支援（所内掲示、求人情報誌への掲載、管理選考等）を積極的に行いました（支援開始件数 実績59件）。

○事業所サービス担当職員による事業所訪問については、求人勧奨を行った事業所を中心に職業相談部門と連携し実施しました。職員の実施目標は達成し、新規求人開拓、事業所情報（業況）・求人内容の詳細情報の収集等を行い、求職者へ情報提供をすることで、マッチングの強化を図りました。

○令和3年度に開設したマザーズコーナーは、令和4年度にホームページの作成や求人情報誌の作成、セミナー（託児付き）の開催など積極的な業務運営を行ったこと等により、担当者制により就職支援を受けた重点支援対象者の就職率（目標95.1%）の目標達成（実績97.6%）につながりました。

2 特記事項

障害者の就職支援において、地方自治体と連携した事業（障害者就職面接会、出張相談会）を実施することで、障害者の就職件数目標の達成（目標 337 件、実績 343 件）につながりました。また、当所においては有効求職者に占める高年齢者の割合が高く、高年齢者へのセミナーの開催、高年齢者が応募できる求人情報の提供など、マッチング機能の強化を図ったことにより、生涯現役支援窓口での 65 歳以上の就職件数目標の達成（目標 143 件、実績 145 件）につながりました。

3 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

4 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険 受給者 早期再就職 件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	ハローワークの職 業紹介により、正 社員に結び付い た就職氷河期世 代の不安定就労 者、無業者の件 数	生活保護 受給者等の 就職率	障害者の 就職件数	新卒者支援に係 る就職支援ナビ ゲーターの支援に よる新規卒業予 定者等(既卒者含 む)の正社員就職 件数	マザーズハローワ ーク事業における 担当者制による 就職支援を受け た重点支援対象 者の就職率	生涯現役 窓口での 65歳以上の 就職件数
令和4年度実績	3,517 件	2,903 人	1,803 件	85.4%	97.1%	602 件	69.6%	369 件	361 件	97.6%	175 件
令和4年度目標	3,640 件	3,010 人	1,710 件	90.0%	90.0%	485 件	63.3%	343 件	259 件	93.1%	165 件
目標達成率	96%	96%	105%			124%	109%	107%	139%	104%	106%

※ 就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成率」は、年度当初に設定した目標値に対する達成率

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、就職件数向上を目指して、雇用保険受給者に対する支援を重点的に取り組んでいます。

雇用保険受給手続き後に受講する初回講習時のアンケートで、安定所を使ってすぐに就職したいと回答した求職者に対し、求職者担当者制（担当者による就職支援）や面接会・セミナーの案内を個別に送付する「早期再就職特別支援プログラム」、給付制限中の方向けに、初回講習の次のステップとなる内容の講習を案内し、継続的な安定所の利用を勧奨する「ステップアップ講習」などの取組を、昨年度に引き続き行いました。

また、令和4年11月から、雇用保険の受給手続きに初めて来所した求職者向けに、希望職種や年齢に応じて作成している求人情報誌「セレクト求人」及び「一緒に求人探して！カード」を交付し、安定所には豊富な求人があることを伝え、窓口利用を促す取組を開始しました。カードを安定所の受付に提示いただいた方に対しては、職業相談窓口を案内し、窓口職員の見線で検索した求人を提案するとともに、求人検索のコツや効率的な検索方法をお伝えしています。

「求人探して！カード」については、令和5年3月までに133枚提示されました。「ハローワークで一緒に求人を探してもらえなかった」「自分だけではなかなか探せない求人を見つけることができた」といった声が寄せられており、安定所の窓口利用につながっています。

② 中長期的な求人者支援サービスの質向上に向けた取組

当所では、少子高齢化が進む中、今後も人材不足が続くことを念頭に、人材確保に向けた求人者支援がますます必要になると考えています。そこで、職業相談部門の各コーナー（マザーズ、就職氷河期、福祉・建設・警備・運輸などの人材確保対策、シニア）と事業所サービス部門とで、定期的にマッチング会議を開催し、おすすめ求人情報の共有や、訪問した事業所の情報共有、求職者のニーズに応じた求人開拓、充足しやすい内容への条件変更などについて話し合い、マッチング率の向上を目指しています。

また、マッチング会議で得られた情報を元に、事業所への安定所利用勧奨リーフレット「ハローワークで求人募集しませんか」や、応募に結びつきやすい求人票の記載方法を職種別にまとめたリーフレット「魅力ある求人づくりのポイント」を作成し、人材をなかなか採用できない悩みを抱えた事業所に対して、求職者の傾向や希望条件についての説明や、求人条件の見直し・求職者へ伝わりやすい求人票の記載方法に

ついでにアドバイスを行うなど、求人者支援サービスの向上に取り組んでいます。

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

情報発信力の強化・利用者の利便性向上を目的に、令和4年7月に、当所のホームページのリニューアルを行いました。管内（枚方市・寝屋川市・交野市）が就業地となっている求人をワンクリックで検索できる「かんたん検索」ページを新設するとともに、トップページのレイアウトをスマホでも一目で見やすくなるように変更しました。また、マザーズコーナーや人材確保対策コーナーの紹介ページも支援内容が分かりやすくなるようにリニューアルし、併せて各コーナーに特化したかんたん検索ができるように改善しました。結果、令和4年度のホームページ閲覧数は前年度比14.3%増となりました。

事業所への求人充足サービスを目的に、面接会に参加する事業所を中心に、許可を得て事業所の外観や作業風景等の画像・動画を収集し、職業相談部門の待合席のモニターに表示させることにより、求職者へのアピールを強化し、紹介につなげる取組を行いました。

オンライン化による業務改善を目的に、求人の更新時期の案内をハローワークインターネットサービスの求人者マイページとしたところ、令和4年度のオンラインによる求人提出率が40.4%と、前年度（26.7%）から10ポイント以上上昇しました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

令和4年度はシニア向け求人をファイリングして閲覧できるシニアコーナーの拡充を実施し、シニア向けの面接会を3回、セミナーを7回開催しましたが、求職者からはもっとシニア向けの就職支援を充実させてほしいとの声が聞かれました。そこで今後のサービス改善の取組として、シニア層の支援を充実させることとし、求人開拓や求人条件の緩和によるシニアが応募しやすい求人の確保、職業相談部門と求人部門との連携による情報共有、シニア向け面接会やセミナーの定期開催に取り組んでいきます。

また、ハローワークインターネットサービスの求職者マイページの開設勧奨を強化し、ハローワークの支援メニューの案内やおすすめ求人などの情報提供を効率的に行います。

さらに、オンラインセミナーについては、現在応募書類作成・面接マナー講座・マザーズ向けで実施していますが、参加された皆様から大変好評であったため、職業訓練や人材確保対策コーナーのセミナーへ拡充します。

(4) その他業務運営についての分析等

令和4年度の新規求職者数について、全体では3.2%減となりましたが、一方で55歳以上のシニア層（3.6%増）や雇用保険受給者（0.6%増）は増加しており、シニア層や雇用保険受給者に対する支援を重点的に実施することで、就職件数の増加につながれると考えています。

2 特記事項

コロナ禍での業務運営が長期化する中でも、就職支援を継続させることを常に意識し、オンライン相談に対応できるような体制作りや、オンラインセミナーの開催などに取り組む一方で、対面での支援を希望する方も多くいらっしまったため、感染対策を徹底させた上で、窓口での職業相談や対面式でのセミナー開催もコロナ禍前と変わらない体制を維持しました。

3 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

4 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給 者早期再就職 件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	ハローワーク の職業紹介に より、正社員に 結びついた就 職氷河期世代 の不安定就労 者・無業者の 件数	障害者の就職 件数	ハローワーク の職業紹介に より、正社員に 結びついたフリ ーターの件数	公的職業訓練 修了3か月後 の就職件数	マザーズハロ ーワーク事業 における担当 者制による就 職支援を受け た重点支援対 象者の就職率	生涯現役支援 窓口での 65歳以上の 就職件数
令和4年度実績	5,346 件	3,538 人	2,174 件	75.0%	81.9%	962 件	475 件	533 件	390 件	94.2%	240 件
令和4年度目標	5,290 件	3,720 人	2,160 件	90.0%	90.0%	693 件	468 件	470 件	356 件	93.1%	239 件
目標達成率	101%	95%	100%			138%	101%	113%	109%	101%	100%

※ 就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成率」は、年度当初に設定した目標値に対する達成率

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、求職者と求人者のマッチングが最重要と考え、特に就職件数の増加を目指し積極的な求人情報の提供や求職者担当者制（担当者による就職支援）などの取組を行いました。

特にミニ面接会はより地域のニーズにマッチした内容とするため、求人担当の職員が中心となり職業相談担当の職員と一緒に面接会を行う事業所を訪問し、求人票に表れない情報の収集にも努めました。利用者から「ハローワークの窓口で相談すると会社の作業風景なども分かった」などの評価もいただきました。（開催49回、参加企業50社、就職件数35件）

また、岸和田市・貝塚市と共催の合同面接会は、昨年に比べてやや多くの参加がありましたがコロナ禍の影響が抜けきれず、2回の開催で就職件数は27件という結果となりました。

高年齢者向けの月2回の求人情報誌の発行や毎月の高年齢者向けセミナーの開催、窓口での求人情報の提供等を積極的に行い、「生涯現役支援窓口の65歳以上の就職件数」は目標を大きく上回りました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、中長期的な職員の育成を図る観点から、若手職員の所内交流研修を行いました。未経験業務の基礎的な知識を得ることで、将来少しでも利用者の方の待ち時間の短縮につなげるため取り組んでいます。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

①事業所訪問時に収集した情報を基に事業所のPRシートを作成し、当所1階の掲示ボードに求人票とともに掲示しました。事業所の情報をより分かりやすく求職者に情報提供できるようになりました。

②当所のホームページに、地域のニーズによりマッチした求人を検索できるように「かんたん求人検索」を掲載しました。岸和田市や貝塚市などの地域やニーズの高い職種のボタンを作成し、ワンクリックで求人を検索できるようにしました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

①職業相談窓口の待ち時間が長くなりがちなことから、窓口対応する職員に研修を行い窓口混雑の緩和を図ります。

②令和5年7月より「人材確保対策コーナー」がオープンします。当所でも介護・看護・保育を中心に人材不足感が強い職種の面接会やセミナーを月1回以上開催する予定です。

(4) その他業務運営についての分析等

岸和田市・貝塚市を中心とした泉南地域での就職を希望される求職者が非常に多いため、求人の充足は他の安定所に比べて高めに推移しています。

2 特記事項

・当所の周知・広報のため、また新規求職者の利用促進のために外部講師によるオンラインセミナーを開催しました。自己肯定感や共感力、コミュニケーション力などの数値化されにくい非認知能力を向上させるセミナーは大阪府内の安定所では初開催であったため、87名の参加と高評価をいただきました。

3 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

4 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	ハローワークの職 業紹介により、正 社員に結びついた 就職氷河期世代の 不安定就労者、無 業者の件数	障害者の就職件数	生活保護受給者等 の就職率	生涯現役支援窓口 での65歳以上の 就職件数
令和4年度実績	2,687件	2,425人	1,047件	76.0%	97.9%	288件	216件	68.9%	133件
令和4年度目標	2,780件	2,320人	1,040件	90.0%	90.0%	277件	215件	63.3%	100件
目標達成率	96%	104%	100%			103%	100%	108%	133%

※ 就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成率」は、年度当初に設定した目標値に対する達成率

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、就職件数及び充足数の目標達成を最重要と考え、目標達成のため雇用保険を受給する方に対して職業相談を行う際に再就職手当の案内を強化しました。その取組のため、当所スタッフ用に説明マニュアルを作成し、「再就職後、短期間で退職となった場合について」も言及し、積極的に求人への応募をしてもらえるような説明を行いました。

また、当所内でのミニ面接会を積極的に行い、令和4年度については59回開催しました。事業所サービス部門で作成した面接会のチラシを職業相談部門で積極的に案内することで、1社平均4.3人（令和3年度は平均2.2人）の応募があり、うち就職者が85人（令和3年度は29人）と大きな効果がありました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、中長期的な職員の育成を図る観点から、キャリアコンサルティングの知識・技術の習得が重要であるため、キャリアコンサルティング研修を奨励し、1名は動画視聴、1名は参集型で受講しました。また雇用保険課担当職員が職業相談部門で5日間の職員交流研修を行い、円滑に雇用保険課から職業相談部門に誘導が行えるよう研鑽に努めました。加えて、安定所の職業相談等においては、各種労働法の知識が必要となることから、労働基準監督署業務研修を5回に分けて行い、全職員が参加しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

求職申込書については、記載項目が多く記入に戸惑うというご意見もいただいていたことから、令和4年度より求職申込書の簡易版を作成し、求職登録のハードルを下げよう努めました。必要最小限の記載項目としたため、求職者との会話が増え、そこから信頼関係が築きやすくなりました。

求人検索については、システム刷新以降使いにくくなったというご意見もいただいていたことから、当所ホームページのリニューアルを行い、「かんたん求人検索」を設定することでハローワークインターネットサービスより簡易な方法で求人検索が行えるようにしました。あわせて、当所と同じ泉南地域である岸和田所と泉佐野所の求人も検索できるようにして、泉南地域における求人と求職のマッチングの強化に取り組みました。

事業所訪問により収集した求人票だけではわからない事業所情報や社内風景を「PRシート」としてまとめ、所内での掲示のほかホームページにも掲載し、求人票にもPRシートを掲示していることを表記することで、「PRシート」をより求職者の目に触れやすくなるよう情報発信を行いました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

新型コロナウイルス感染症関係では、令和4年3月21日までのまん延防止等重点措置以降、新たな行動制限は行われませんでした。新規求職者数については令和3年度の10,540人から令和4年度は10,606人と、微増にとどまっています。今後も安定所の窓口を利用せず、ハローワークインターネットサービスのみを利用する求職者は増加すると見込まれるため、隣接する安定所と連携し、事業所訪問で得た求人票だけでは分からない情報をホームページに掲載していきます。これにより安定所の窓口を利用しない方に対しても情報発信を行うとともに、その情報に興味を持ってもらうことで窓口の利用促進を図っていきます。

(4) その他業務運営についての分析等

令和2年1月からの新型コロナウイルス感染症による影響から、令和2年度には新規求人数が大幅に減少しましたが、令和4年度には令和元年度と同程度まで回復しました。その影響もあり、就職件数については前年度比で104.5%となっており、前年度から増加している一方で、充足数については前年度比で98.4%となっており、前年度から若干減少している状況です。これは、管内求職者の指向が地元求人から、より賃金等の条件が良い大阪市内の求人へと移行していることが原因のひとつと考えられます。職業相談部門と事業所サービス部門の連携強化を図り、求人票以上の情報を提供できるような取組を進めていきます。

2 特記事項

令和4年10月からの社会保険の加入条件変更により、配偶者の扶養の範囲内で働くことを希望して、労働者が離職や労働時間短縮を選択した影響で、大量募集の求人を提出する事業所がありました。また、新型コロナウイルス感染症の影響は弱くなりつつあり、当所管内に新設のホテルがオープンしたことや、飲食関係のホール等の求人が増えたこともあり、新規求人数は回復傾向にありました。

これらの求人に対し一括で面接・選考できるミニ面接会の開催を働きかけることが、就職件数の目標達成につながる一因になったと思われます。

3 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

4 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	ハローワークの職 業紹介により、正 社員に結びついた 就職氷河期世代の 不安定就労者・無 業者の件数	障害者の就職件数	マザーズハローワ ーク事業における 担当者制による就 職支援を受けた重 点支援対象者の就 職率	人材不足分野の就 職件数
令和4年度実績	2,702 件	2,129 人	1,039 件	78.8%	91.8%	424 件	249 件	98.6%	737 件
令和4年度目標	2,640 件	2,160 人	970 件	90.0%	90.0%	414 件	224 件	93.1%	733 件
目標達成率	102%	98%	107%			102%	111%	105%	100%

※ 就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成率」は、年度当初に設定した目標値に対する達成率

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、お仕事をお探しの方のニーズや課題に合わせた支援を実施することを重視し、求人の応募状況の確認や簡易な職業相談を行う窓口を新たに設け、メリハリをつけた支援を行うとともに、窓口の待ち時間短縮を図りました。

自宅から近い地域での就職希望が多いことから、求職者自らがパソコンやスマートフォンで簡単に新着求人情報を検索できるように「求職者マイページ スマホ版スタート☆ブック」を作成するとともに、気軽にお仕事探しの窓口をご利用いただけるよう案内しました。

また、それぞれの求職者のニーズに合わせた求人情報誌を多数作成し、窓口での配付や所内配架に加えて、管内の各市役所及び関係施設、主要駅の商業施設に配架し、頻繁に来所できない方や当所をまだ利用していない方を含めた、より多くの方に情報提供できるようにしました。

所内で開催するミニ面接会について、事業所と求人内容に関する説明会を同時開催することで、管内事業所や職業に関する理解を深めるように努め、応募先の選択肢を色々な業界に広げられるよう積極的に誘導を行いました。この取組については、利用者から「求人票だけでは分からない会社の様子や仕事の内容がよく分かった。」「面接を受ける前に詳しい説明を聞くことができたので、面接では、より具体的な話ができた。」「応募するか迷っていたが、理解が進んだことで応募を決意できた。」「知らなかった業界の話聞いて、選択肢が広がった。」などの評価をいただいています。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、中長期的な職員の育成を図る観点から、若手人材を中心にCS委員会と業務改善委員会を運営し、意見を取り入れています。

また、担当業務以外の業務を学べる所内交流研修を実施しています。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

当所では、庁舎内スペースが狭く、待合スペースと記入台が十分に確保できていなかったため、レイアウト変更を行い、より多くの利用者が快適に利用できる待合スペースを確保するとともに、座って利用できる記入台を多数導入しました。

また、ボイスコールシステムを一新し、職員からも利用者からも分かりやすい誘導體制を整えました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

求職者マイページ及び求人者マイページの開設率及び利用状況について、府内の安定所と比較して低調であり、求職者及び求人者に対して利用のメリットを周知する取組を強化していく必要があります。

求職者に対しては求職者マイページを活用した効率的な就職活動を、また、求人者に対してはオンライン利用による事務簡素化や効率化のメリットを周知し、双方の利用率の向上を図ります。

(4) その他業務運営についての分析等

令和4年度は、当所管内の主要産業である自動車部品製造業や建築資材製造業を中心として、様々な業種の事業所から新型コロナウイルス感染症や資材・光熱費・燃料費の高騰等の影響が大きいとの声を聞き、また、人材不足が解消されないという声も多く聞きました。

自宅から近い地域での就職希望が多いことから、求職者に対して地元企業の情報を伝える機会を増やすべく、企業説明会や面接会の開催数の増加を図ります。

2 特記事項

ハローワークインターネットサービスの検索機能を、より簡単に使えるように、当所のホームページ上に「かんたん求人検索」「シンプル求人検索」という機能を追加しました。 (<https://jsite.mhlw.go.jp/osaka-hellowork/list/fujiidera>)

また、パソコンやスマートフォンでの求人検索が苦手な方のために、紙媒体の求人情報誌の種類や内容、発行回数を増やしました。特にシニア向けと障害者向けの求人情報誌は、毎日最新の内容で作成して発行しています

3 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

4 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	ハローワークの職 業紹介により、正 社員に結び付いた 就職氷河期世代の 不安定就労者・無 業者の就職件数	生活保護受給者等 の就職率	公的職業訓練修了 3か月後の就職件 数	マザーズハローワ ーク事業における 担当者制による就 職支援を受けた重 点支援対象者の就 職率
令和4年度実績	2,700件	2,056人	1,303件	80.4%	91.2%	310件	76.6%	181件	96.6%
令和4年度目標	2,650件	1,770人	1,250件	90.0%	90.0%	268件	63.3%	174件	93.1%
目標達成率	101%	116%	104%			115%	121%	104%	103%

※ 就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成率」は、年度当初に設定した目標値に対する達成率

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

求人充足に係る支援として、新規で求人申込を行った事業所を積極的に訪問し、収集した事業所情報を「伝えるシート」にとりまとめ所内へ掲示したほか、当所のホームページにも掲載。さらに岸和田所、泉大津所とも共有するなど幅広く情報提供を行うことにより、事業所の人材確保のための支援に取り組みました。

また、ホームページの改修を行い「かんたん求人検索」機能を設定し、求人情報の提供をしました。同時に、自治体の広報誌や求人情報誌を活用した安定所の支援内容の周知、ホームページ（「かんたん求人検索」機能）の周知を行い、安定所の利用促進に努めました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

「かんたん求人検索」機能をホームページへ設定し、求人の検索・応募を促し、ホームページへアクセスしてもらうことでセミナーや面接会など、その他の支援内容を知ってもらい安定所の利用へとつながるようにしました。

また、全スタッフから利用者サービスの向上に向けた取組や、業務改善の提案を募る「プログレスプロジェクト」を実施し、利用者サービスの更なる向上を心掛けています。令和4年度は63件の提案があり、2階のフロア案内に窓口で使用する発券機の設置位置の表示をするなど利用者サービスの向上に取り組みました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

「プログレスプロジェクト」を今後も継続し、更なる利用者サービスの向上に努めてまいります。

（4）その他業務運営についての分析等

管内自治体と連携したセミナーの開催、合同就職面接会における安定所相談ブースの設置、児童扶養手当の申請時期に市役所内において臨時相談窓口を開設するなど、管内自治体との連携強化を図りました。

2 特記事項

○「職業訓練ガイダンス in 泉佐野」の開催

令和4年12月6日に近隣の安定所（岸和田所・泉大津所・堺所・和歌山所）と連携し、「職業訓練ガイダンス in 泉佐野」を開催し、個別ブースにて職業訓練施設9校による説明、UIJターン相談会、「介護のお仕事のことがいろいろわかるセミナー」を実施した結果40名の参加者があり高い評価を得ました。

3 総合評価（※）

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	ハローワークの職業紹介 により、正社員に結び付 いた就職氷河期世代の 不安定就労者・無業者の 件数	公的職業訓練修了 3か月後の就職件 数	マザーズハローワーク事 業における担当者制によ る就職支援を受けた重点 支援対象者の就職率	生涯現役窓口での 65歳以上の就職 件数
令和4年度実績	2,418件	2,195人	985件	67.3%	93.3%	337件	168件	99.6%	126件
令和4年度目標	2,400件	2,050人	910件	90.0%	90.0%	222件	107件	93.1%	117件
目標達成率	100%	107%	108%			151%	157%	106%	107%

※ 就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人者の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成率」は、年度当初に設定した目標値に対する達成率

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 雇用保険受給者に対する取組

当所では、雇用保険受給者に対する就職支援に重点を置き、特に早期再就職の目標達成を目指して進めることとし、雇用保険受給手続きの際に最新の求人情報（一覧表）の提供や安定所の支援メニューを説明、初回失業認定日の職業相談時に、再就職の時期によって受給できる再就職手当の金額が異なることを具体的にイメージできるように早見表により説明のうえ、早期再就職に向けた意欲喚起などの取組を行いました。

② 職員間の情報共有の強化に向けた取組

当所では、求人受理を担当する事業所サービス・企画部門と職業紹介を担当する職業相談部門との情報共有を強化するため、マッチング会議を7月以降、月1回実施しました。その会議内容については、電子上の共有フォルダーにより全職員で共有を行いました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

当所では、求職者のうち55歳以上の高年齢者の占める割合が高く、パソコンの操作が得意ではない高年齢者も多いため、簡単に求人検索できるように、「かんたん求人検索」機能を設け、使い方についてわかりやすいように来所者端末への表示やポスター掲示を行いました。

また、当所入口横におすすめ求人として「ピックアップ求人」の掲示や、1階の職業訓練コーナー及び2階の雇用保険受給者待合スペースにおいて職業訓練の案内映像を放送するなど視覚的な情報の周知強化を行いました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

自治体等と連携した面接会（南河内合同就職面接会）は参加者が少なかったため、令和5年度は、求職者が一度に複数の面接ブースを回れるよう希望者が多い業種に絞り込むなどの改善を図ることとします。

また、求人開拓や求人情報の収集、事業所の魅力を伝える事業所PRシートの作成を実施することにより就職機会を増やす取組を行います。

(4) その他業務運営についての分析等

求人者マイページについては、場所や時間を選ばず、過去の求人をベースにした新規作成が可能といったメリットを徹底して案内することにより開設数は確実に増加しています。(3月時点で前年同月比64%増加)

2 特記事項

河内長野市の子育て支援施設との連携で、同施設において、これからの働き方やの子育てとの両立、仕事探しの方法など相談に応じる“おでかけハローワーク相談”を令和4年8月から隔月に実施しました。3月までに延べ26人の方にご利用いただきました。

3 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	ハローワークの職 業紹介により、正 社員に結び付いた 就職氷河期世代の 不安定就労者・無 業者の件数	ハローワークの職 業紹介により、正 社員に結びついた フリーターの件数	マザーズハローワ ーク事業における 担当者制による就 職支援を受けた重 点支援対象者の就 職率	生涯現役支援窓口 での 65 歳以上の 就職件数
令和4年度実績	2,172件	1,712人	863件	71.2%	93.3%	307件	197件	93.1%	135件
令和4年度目標	2,230件	1,800人	910件	90.0%	90.0%	269件	173件	93.1%	129件
目標達成率	97%	95%	94%			114%	113%	100%	104%

※ 就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成率」は、年度当初に設定した目標値に対する達成率